

# 相原地区協議会

2017.3.25

発行人  
相原地区協議会  
代表 平山富士雄

## NEWS

ニュース

〒194-0211 町田市相原町 795-1  
町田市堺市民センター内

相原地区協議会  
代表 平山富士雄

相原地区協議会の目指すところは、地域で活動するさまざまな団体が、地域の課題解決のために相互に協力し、お互いの自立性を尊重して、対等な立場で活動し、誰もがいつまでも住み続けたいと思える地域づくりを推進していくことです。

私たちの相原地区がより住みやすく、魅力ある町になるよう、地域の皆さまの積極的な参画が必要です。

法政大学

## 山道整備(学びの道)



様々な形で学生が地域に奉仕活動していますが、今回はゆくのき学園の生徒との協同作業で行った山道整備について報告します。

本学ではボランティアとして放課後の中学生の学習指導や小学生の子供教室の遊び相手として活動しており、その数は年間で約1000人にもなります。

大学からはこれまで、町田街道を歩いて2キロの道のりを20分かけていくのき学園に通っていましたが、大学と学園の間には山道がありますが、急傾斜区間が荒れ果てて藪に覆われ通行不能になっていました。

荒廃区間を整備して行き来をスムーズにすることになり、地元で組織された「大戸源流森の会」の皆さまのご支援をいただき、本学の学生とゆくのき学園中学生が協力して作業にあたりました。

作業は3月にスタートし、8回の作業で100段以上の段差を作り、昨年12月に山道が完成し、『学びの道』と名付けられました。



# 真米地区の環境を守る会



近年、相原中央公園利用者の増加と共に後背地にある山林の散策路を歩く人々が増加しています。日曜日や祭日などには多くのハイカーが訪れるようになりました。しかし、山林内は倒木なども多く、危険な箇所が多くあります。

私たちは、真米地区内の山林や山林内の通路(散策路)を整備することで、この地区を訪れる多くの人々(ハイカー)が安全に歩行できる環境をつくり多くの人々に相原を訪れていただき、このまちの魅力を知っていただくとともに活性化を図ることを目的に活動しています。

## 活動の主なものは次の通りです

- ①散策路の草刈り、路面・路肩の補修
- ②木造階段の補修
- ③倒木・枯れ枝の伐採、除去
- ④案内看板の設置



## 相原スポーツクラブ委員会

### 相原スポーツ FUN DAY

開催 2016.11/3

「体を動かし、心を動かそう!」をテーマに子どもセンターばお、NPO法人レスポアール相原の協賛で、ちょっとボールを蹴ってみたい、ちょっとボールを投げてみたい、そんな小さな体験から外で遊ぶって面白いね、プロサッカー選手になりたいな、プロ野球選手になりたいなと思う「きっかけ」がくれた!

普段からスポーツに触れる機会が少ないお子さんでも、体を動かす楽しみを感じてもらえる機会をつくりました。

キックターゲットやミニサッカーゲーム、ティーバッティングやストラックアウトなど、初めてボールに触れるお子さんでも気軽に参加できるよう、相原ジャガーズ、相原FCの指導者がアドバイス。初めてでも上手に投げたり、打ったり、キャッチしたり、強いキックが出来たり、シュートが出来たり、幼児さんでも楽しめるドッチビーでは、思いっきり投げて、ゴールイン!無料のポン菓子も大人気でした。また2018年の秋も開催予定です。お楽しみに!!



### 元旦ジョギング



開催 2017.1/1

2017年元旦の早朝6時過ぎ、まだ暗いうちから、多くの地域の方々が相原中央公園に集まって準備体操。幼児からおじいちゃん、おばあちゃんまで楽しめるよう、Aコース、ゆっくり徒歩で800m、Bコース、ゆっくりジョギングで1Km、Cコース、楽しくマラソンで1.5Kmの3コースから選べます。

楽しく会話をしながら、相原中央公園上にある、お大日さまで初詣、初日の出を迎えました。150名以上の参加があり、温かいおしるこで乾杯!

どなたでも参加できますので、2018年元旦も多くの皆さまのご参加をお待ちしています!!



# 相原にぎわい創生プロジェクト

## 平成28年度活動概要

相原にぎわい創生プロジェクトは、①相原に関係する住民の参画により、にぎわいと交流を創出するまちづくり②自然を活かすまちづくりを具現化することを基本的なテーマとして、講演会、学習会の開催を柱に、相原の地域住民や相原を訪れる人々のふれあいの機会を創出し、地域活性化を推進することを目的に平成28年1月23日に設立しました。初年度である平成28年度は重点活動のひとつとして、相模原市と町田市が母体となった公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアムが推進する地域連携活動として企画した『相原魅力づくりコンテスト』を町田市と連携し実施した。

### 概要

- ① 5/13: 事前説明会
- ② 6/3: オリエンテーション
- ③ 6/11,6/19: 相原地域でのフィールドワーク
- ④ 10/2: 企画発表コンテスト(町田市庁舎)

その結果、参加5大学6チームのうち

**最優秀賞：女子美術大学『相原森の中の竹フェスティバル』**

**優秀賞：法政大学『多摩キャンパス地域交流「森カフェ」』**

**優秀賞：桜美林大学『Let's start new life in Aihara』**

これらの入賞作品は平成28年11月13日、堺市民センターにて相原まちづくり協議会とともに、地域の方々を対象とした「まちづくり講演会」で作品を紹介した。これら若い世代の斬新な提案は、本プロジェクトの目的である地域の活性化に向けて、平成29年度の活動計画に反映されている。また、もうひとつの重点活動として、平成29年1月21日、堺市民センターにて町田法人会と連携し、博報堂宮崎晋氏による講演会を共催した。

平成29年1月31日、堺市民センターにて定期総会を開催。



## 相原さくらまつりを開催!!

まずは「第1回相原中央公園さくらまつり(4/1 相原中央公園)」の開催に向けて、新年度が新たにスタートした。

# ガラスフュージング 千の花

ガラスフュージングとは、電気炉で板ガラスを溶かして器やアクセサリなどを作る技法です。1960年代から盛んになってきた、ガラス造形の歴史の中でもまだ新しいジャンルで「ガラスを溶かすこと＝フュージング」と言います。ガラスは溶かす温度によって表情を変えていきます。その変化を楽しめるのもガラスフュージングの魅力のひとつです。代表的なベネチアンガラスのミルフィオリ(千の花)があります。

『千の花』の始まりは、子どもセンターぱおの開所時、工作室での作品づくりに伴い子供会からの呼びかけでガラス工芸の提案があり、子どもセンターで出来る手軽なガラス工芸を模索し、相原保善会の助成金で、ガラス工芸の活動が出来るようになりました。

ぱおでの親子ガラスフュージングで、大人の要望がとて大きかったので、地域での活用を地区協議会に提案し、ゆくのぎ学園のご厚意で技術室に窯を設置、昨年から活動を開始しました。

現在では、各町会のサロンで出張ガラスフュージングを実施しています。口コミを通して、数人グループでの実施や、地域内学校での箸置き作りやサマースクールとしても実施して、地域活動を活発化しています。第10回市民協働フェスティバル『まちカフェ!』での販売では多くの反響がありました。

今後も、作る事の楽しさ、皆さんの喜ぶ顔を原動力に、地域活動の一つとして広めたいと思っています。

あちらこちらからお声がかかり、  
大好評で、うれしい悲鳴です!!



連絡先

お気軽に連絡して下さい

横溝一枝 090-4842-3046